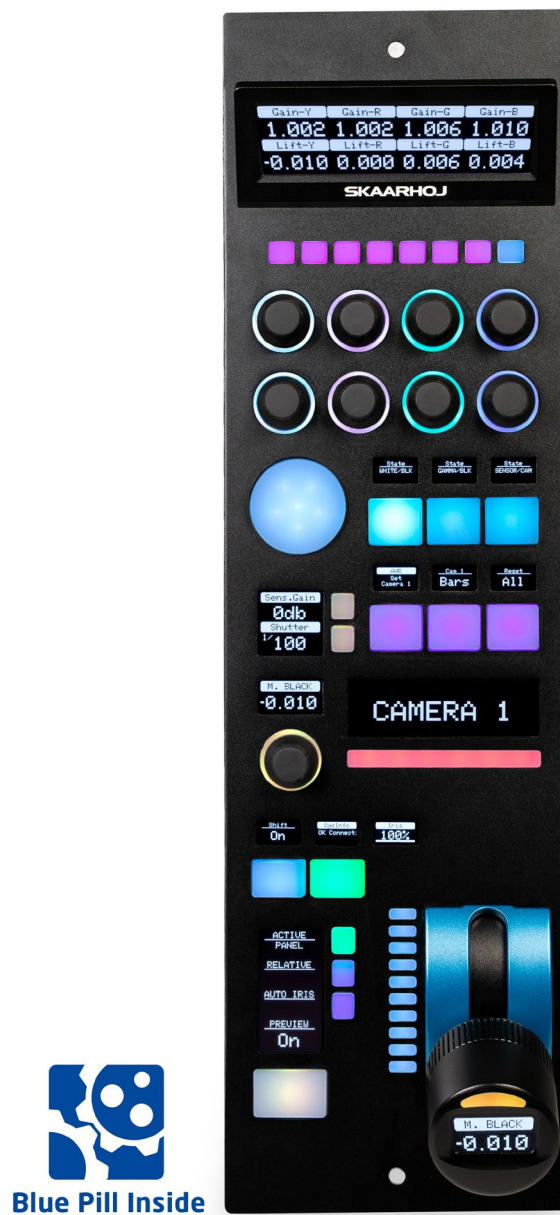


Blue Pill Inside

スタートマニュアル

SKAARHOJ でメディア制作コントロールの未来に向かうことができます！本書では、SKAARHOJ の新しくエキサイティングなテクノロジーである Blue Pill / Reactor の初期設定と基本的な構成について説明します。



目次

接続について	3
ネットワーク	3
ネットワークの推奨事項	3
ネットワークレイアウト	3
Blue Pill へのアクセス	4
DHCP または 静的 IP	4
Wi-Fi アクセスポイント	4
SKAARHOJ ファームウェアアップデーターからのリンク	5
SKAARHOJ ファームウェアアップデーターと Micro USB	6
マッピングの選択	6
デバイスの追加	7
自動検出	7
手動での追加	8
デバイスの詳細	8
定数セットを設定する	9
サポート窓口	12

接続について

ネットワーキング

構成および含まれるデバイスコアの変更には SKAARHOJ サーバーとのオンライン交換が必要だった UniSketch とは異なり、Blue Pill ではすべてが Reactor にローカルに保存され、有効化および無効化されます。

ソフトウェアの更新、または存在しないデバイス コアおよびアプリケーションのインストールのみ、インターネット経由で SKAARHOJ サーバーと通信する必要があります。 構成の変更はすべてローカル ネットワーク経由で行うことができます。

ネットワークの推奨事項

- SKAARHOJ Blue Pill コントローラーには 1 GBit ネットワークインターフェイスがあります。
- 5W ~ 30W PoE (+)
- PoE規格 : IEEE 802.3af/t

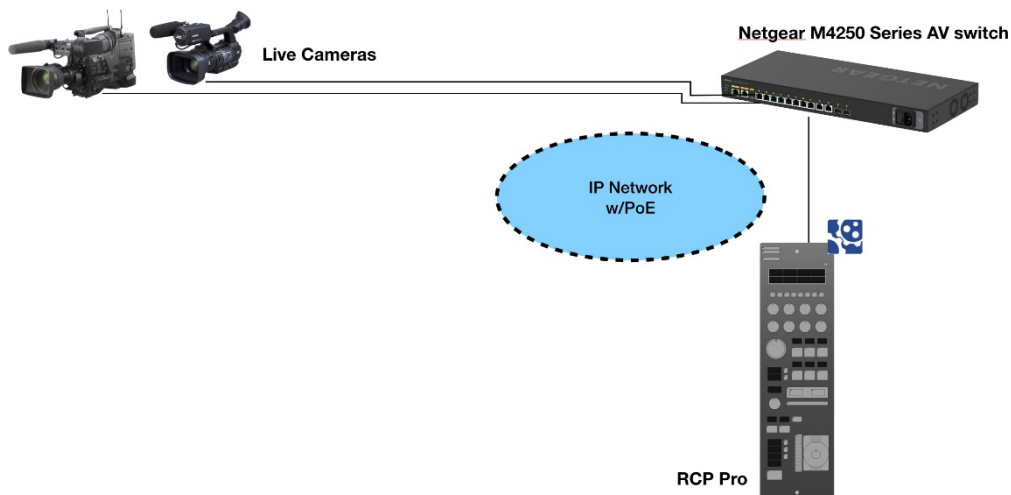
SKAARHOJ コントローラーとクライアントは同じサブネット (192.168.10.*、またはコントローラーが使用するローカル ネットワーク用に定義されたもの) 上に存在する必要があることに注意してください。 複数の SKAARHOJ ユニットが同じネットワークに接続されている場合は、異なる IP アドレスが必要です。

パワーオーバーイーサネット (PoE) 仕様

PoE 業界標準の 5W ~ 30W PoE (+) IEEE802.3af/t を使用します。 PoE を使用してコントローラーに電力を供給するには、スイッチがこの規格をサポートしていることが重要です。 Ubiquity などの一部のメーカーは、当社のコントローラーと互換性のない独自の非標準 24V タイプの PoE を使用していることに注意してください。 特にPoEインジェクターを使用する場合は規格に注意してください。

ネットワークレイアウト

SKAARHOJ Blue Pill コントローラーは、同時に NDIビデオなどの AVネットワークトラフィック用に設計された NetGears M4250 シリーズなどのプロフェッショナル PoE ネットワークスイッチ経由で接続することをお勧めします。 RCP Pro とカメラの構成は次のようになります。



当社はネットワークの専門家ではないため、ネットワークのセットアップを支援することはできません。

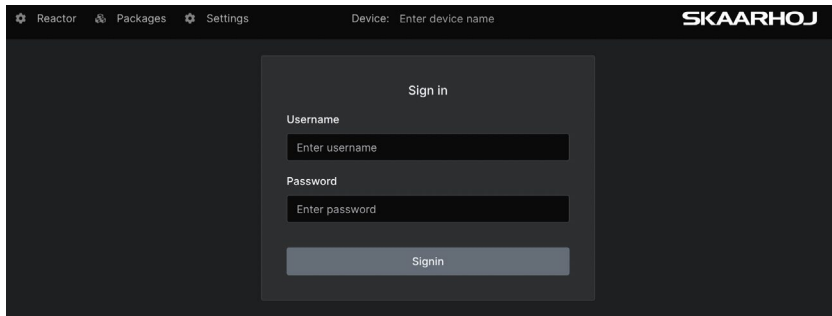
Blue Pill へのアクセス

DHCP または 静的IP

Blue Pill のユーザーインターフェイスには、デバイスの IP アドレスと任意の Web ブラウザーを介してアクセスします。IPアドレスは、PoE によるネットワーク接続、またはネットワーク接続と電源 (5V Micro USB) に接続すると、ディスプレイに表示されます。



検索エンジンのアドレスバーにIPアドレスを入力すると、ユーザー名とパスワードの入力を求めるプロンプトが表示されます。デフォルトは ユーザー名: **admin** パスワード: **skaarhoj**



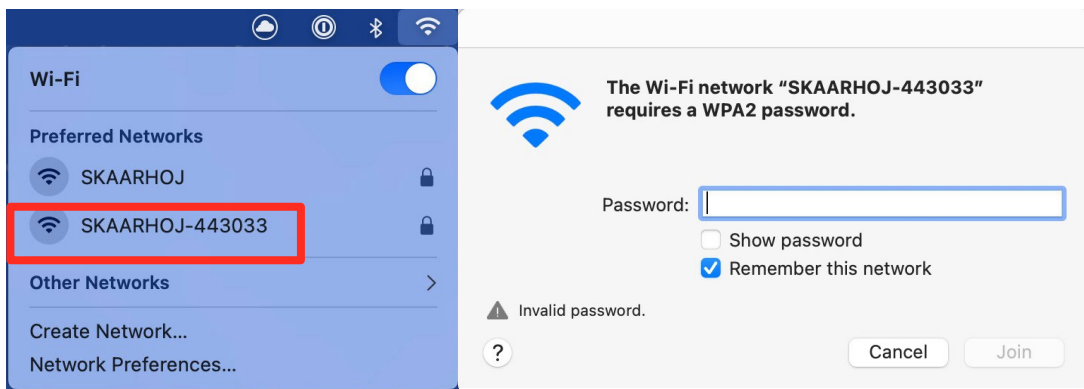
Wi-Fi アクセスポイント

Blue Pill に IPアドレスが表示されない場合は、内部 Wi-Fi アクセスポイントを有効にすることで Webインターフェイスにアクセスできます。

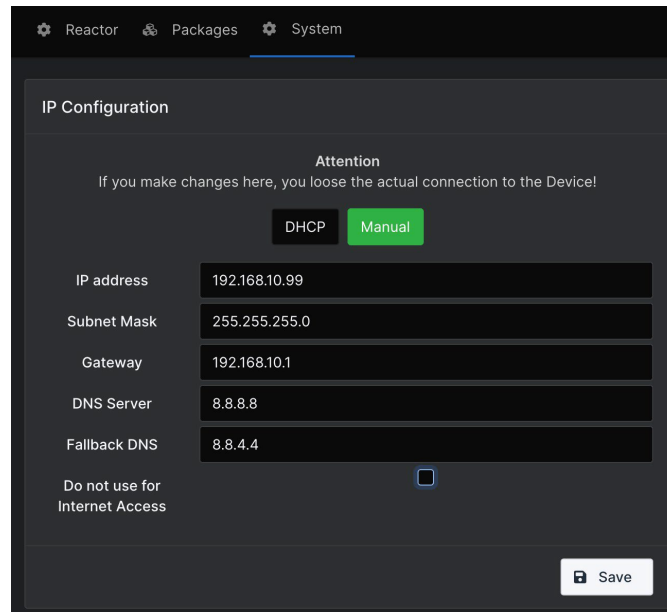
Wi-Fi アクセスポイントを有効にするには、Blue Pill の側面にある設定ボタンを約3秒間軽く押し続けます (イーサネットジャックの隣にあります。マイナスドライバーやペーパークリップなどを使用します)。放すと内部アクセスポイントが有効になり、LEDが紫色に点灯します。Wi-Fi ネットワークリストには SKAARHOJ-XXXXXX (Blue Pill のシリアル番号) として表示されます。

デフォルトのパスワードは次のとおりです: **skaarhoj**

次に、Web インターフェイスに IP アドレス **192.168.4.1** でアクセスします。



Blue Pill にアクセスした後、システムメニュー/システムページに移動して静的 IP アドレスを設定することをお勧めします。保存すると、新しい IP アドレスが Blue Pill のディスプレイに表示されます。その後、デバイスを再起動するか電源を入れ直す必要がある場合があります。



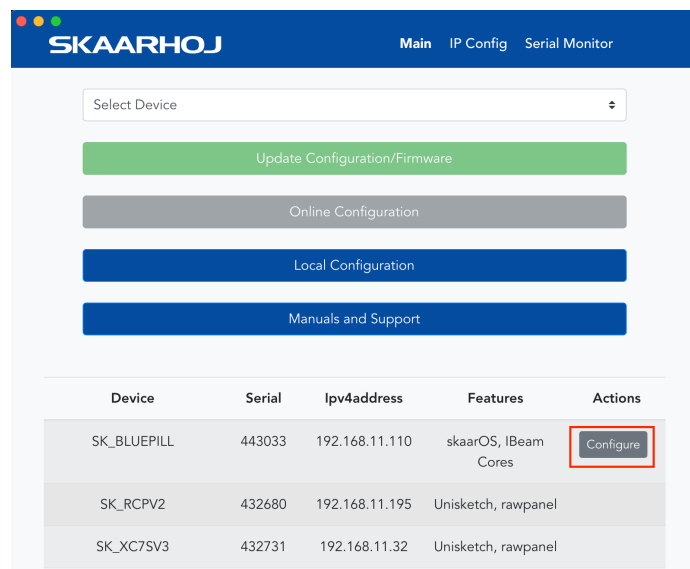
The screenshot shows the 'IP Configuration' page in the Reactor system menu. At the top, there are navigation tabs for 'Reactor', 'Packages', and 'System'. Below the title, there is an 'Attention' warning: 'If you make changes here, you loose the actual connection to the Device!'. There are two buttons: 'DHCP' and 'Manual' (highlighted in green). The configuration fields are as follows:

IP address	192.168.10.99
Subnet Mask	255.255.255.0
Gateway	192.168.10.1
DNS Server	8.8.8.8
Fallback DNS	8.8.4.4

There is a checkbox labeled 'Do not use for Internet Access' which is currently unchecked. A 'Save' button is located at the bottom right.

SKAARHOJ ファームウェアアップデーターからのリンク

Blue Pill と同じサブネット上で実行されているコンピューター上で SKAARHOJ ファームウェアアップデーターを開くと、アップデーターのメインコントローラーのアクセスボタンの下に Blue Pill が表示されるはずですが、パネル情報の横にある[Configure]をクリックすると、Web インターフェイスが直接開きます。Blue Pill は USB 経由でコンピューターに接続する必要はありません。



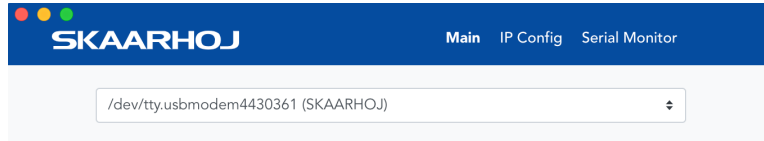
The screenshot shows the SKAARHOJ web interface. The top navigation bar includes 'Main', 'IP Config', and 'Serial Monitor'. Below the navigation bar, there is a 'Select Device' dropdown menu. The main content area contains four buttons: 'Update Configuration/Firmware' (green), 'Online Configuration' (grey), 'Local Configuration' (blue), and 'Manuals and Support' (blue). Below the buttons is a table listing devices:

Device	Serial	Ipv4address	Features	Actions
SK_BLUEPILL	443033	192.168.11.110	skaarOS, IBeam Cores	Configure
SK_RCPV2	432680	192.168.11.195	Unisketch, rawpanel	
SK_XC7SV3	432731	192.168.11.32	Unisketch, rawpanel	

The 'Configure' button for the SK_BLUEPILL device is highlighted with a red box.

SKAARHOJ ファームウェアアップデーターと Micro USB

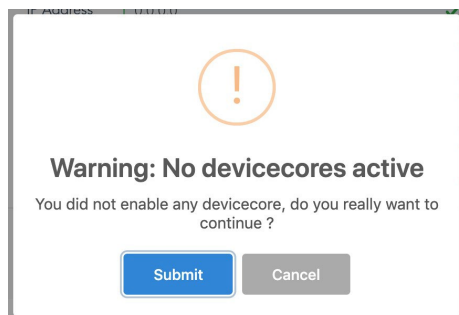
Blue Pill へのネットワーク接続が利用できない場合は、Micro USB ケーブルを使用して IP アドレスを設定できます。この場合、Blue Pill が [Select Device] ドロップダウンに表示され、ファームウェアアップデーターの [IP Config] タブを使用して IP アドレスを設定できます (UniSketch と同じ手順)。



この場合、[/dev/tty.usbmodem4430361](MacOS の場合) として識別され、[IP Config] を押すと IP セットアップページが開きます。

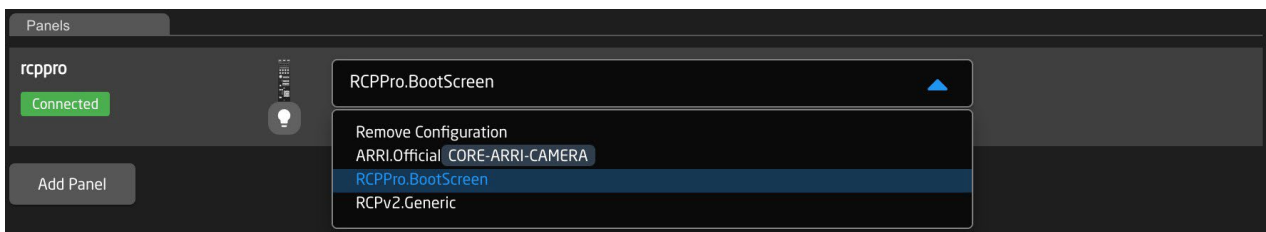


以下の警告が表示された場合は、[Submit]を押して Blue Pill を再起動します。



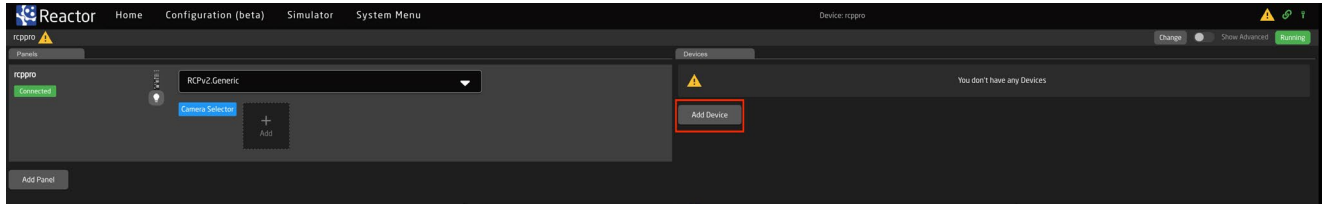
マッピングの選択

コントローラーのレイアウトはマッピングによって決まります。ほとんどの場合、必要なのは汎用マッピングだけです。ただし、パネルとデバイスの組み合わせによっては、特定のマッピングが存在する場合があります。マッピングは、パネルの隣のドロップダウンで選択します。



デバイスの追加

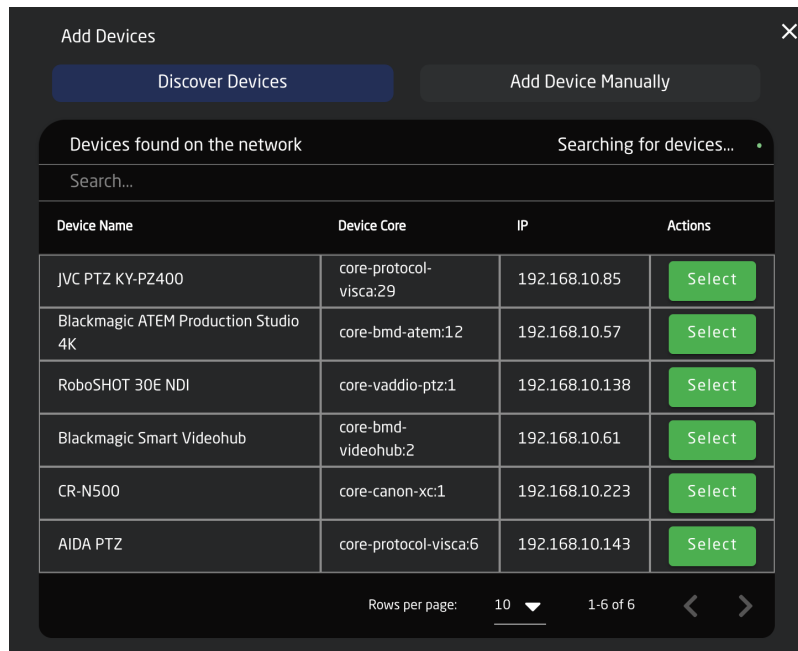
デバイスを新しい Blue Pill に追加するには、主に自動検出と手動の 2 つの方法があります。



自動検出

ネットワーク上でデバイスを検索すると、mDNS ルックアップと他の方法を組み合わせて多くのタイプが見つかります。すべてのデバイスを簡単に検出できるわけではありませんが、検出できるデバイスであれば、ボタンをクリックするだけで Blue Pill デバイスコレクションに追加できます。自動検出の後、接続を確立するために一部のデバイスの詳細が必要になる場合があります。セットアップについては本書の「デバイスの詳細」の項目を参照してください。

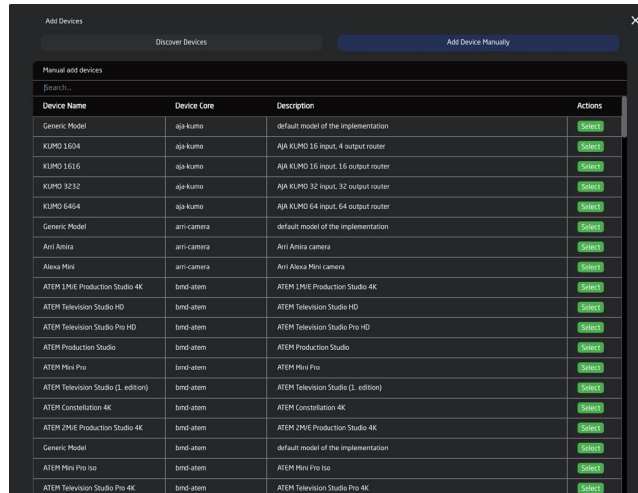
SHIFT キーを押しながら緑色の[Select]ボタンを押すと、複数のデバイスを選択できます。



手動での追加

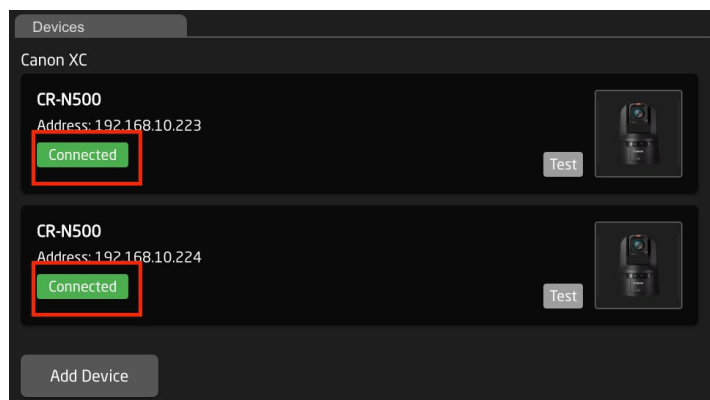
デバイスを手動で追加する必要がある場合は、サポートされているモデルのリストで簡単に検索できます。デバイスを手動で選択した後、ユーザーは IP アドレスとその他のデバイスの詳細情報を入力する必要があります。セットアップについては、本書の「デバイスの詳細」の項目を参照してください。

SHIFT キーを押しながら緑色の [Add Device] ボタンを押すと、複数のデバイスを選択できます。



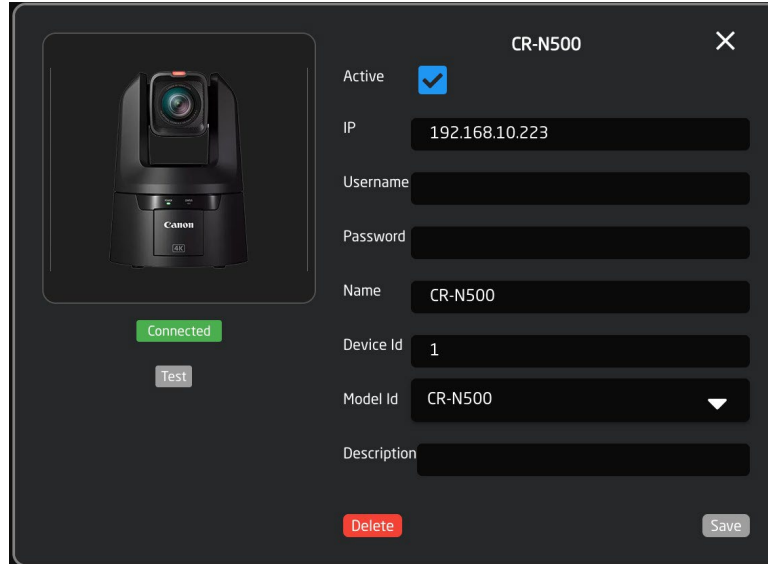
デバイスの詳細

デバイスのステータスは、ホーム画面の概要に明確に表示されます。



Blue Pill Inside / Reactor Getting Started

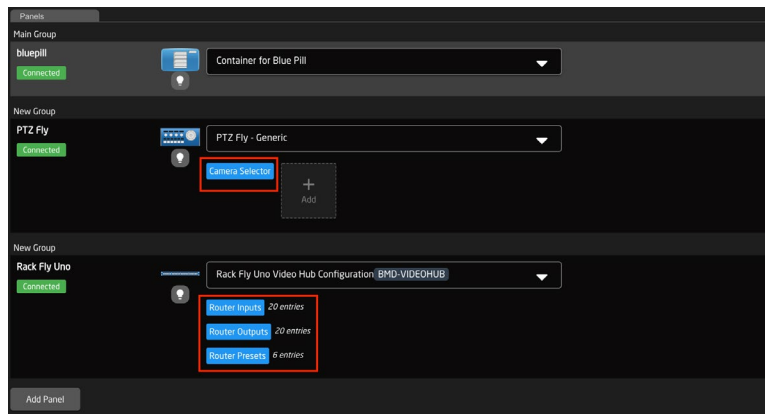
[Device]セクションでデバイス名をクリックすると、詳細が表示されます。ここでは、デバイスの名前、ID 番号、アクティブステータス、および IP アドレスを変更できます。デフォルトではコントローラ名はモデル名と同じになり、ID は順番に自動生成され、ステータスはアクティブになります。使用するにはコントローラのステータスがアクティブである必要があります。デバイスに該当する場合は、特定のユーザー名とパスワードを使用した接続オプションも使用できます。特定のユーザー名とパスワードを設定しないと、ほとんどの場合、コアはデバイスのデフォルトのユーザー名とパスワードへの接続を試行します。



定数セットを設定する

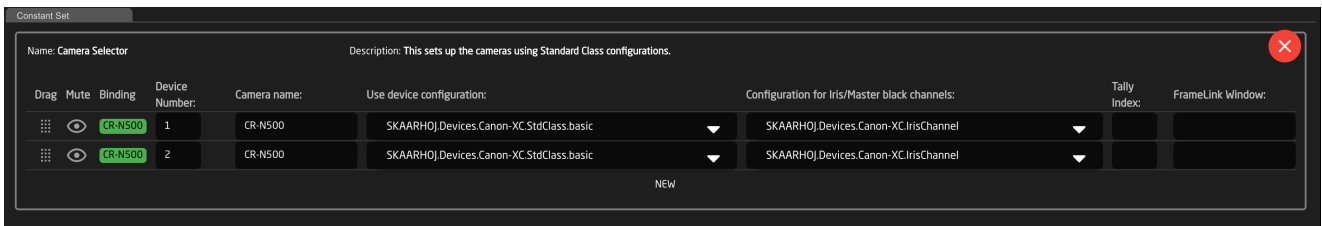
最後のステップは、定数セットを入力することです。定数セットは選択した構成に基づいて使用でき、PTZ コントローラーの特定のカメラやビデオスイッチャーの入力などのエントリが含まれている必要があります。これらは PTZ カメラやルーティングパネルを使用する場合に最も一般的ですが、追加のデバイス構成にも使用できる場合があります。

セットアップテーブルは自動保存され、すぐにディスプレイに表示され、機能が有効になります。



Blue Pill Inside / Reactor Getting Started

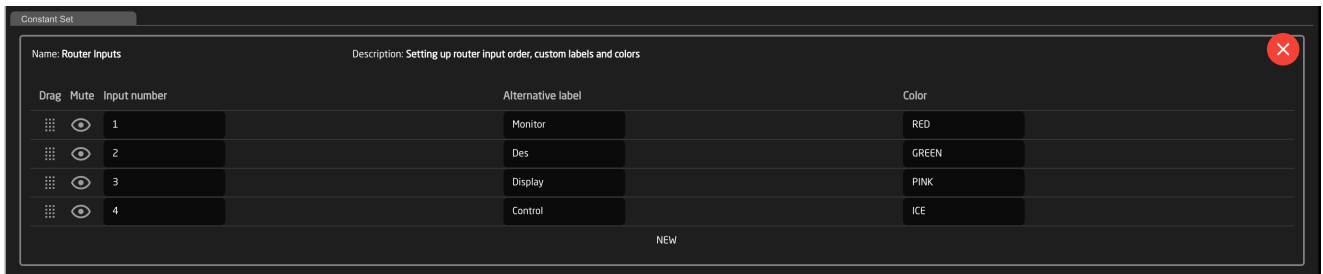
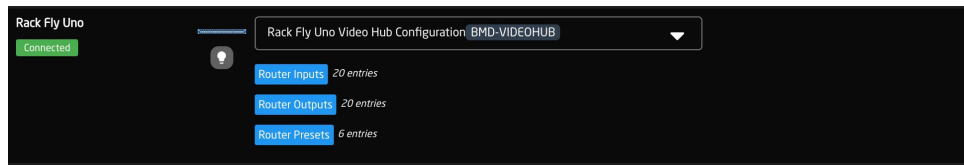
セットアップテーブルの例はカメラセクターであり、以下に示すようになります。これらは、選択した構成に応じて異なる場合があります。ここから、パネルのカメラセクター行の順序と、ディスプレイ上の希望の名前が設定されます。



項目	説明
Drag	カメラの順序をすばやく並べ替えることができます。ドラッグを右クリックすると、行を削除できます。
Mute	特定のカメラへのアクセスを削除したり、パネルに空白の場所を残すことができます
Binding	特定の接続されたカメラを選択できます
Camera Name	ディスプレイに表示される名前をカスタマイズできます。文字数制限はディスプレイのサイズによって決まり、異なる場合があります。
Device Number	カメラ セクターを特定のデバイスに関連付けます。これは[Device]セクションにあります。各デバイスには、デバイスコアごとに一意のデバイス番号があります。バインディングでカメラが選択されると、このボックスに自動入力されます。
Link Selector	カメラに関連付けられたプロトコルベースの構成を選択します。必要なプロトコルは[Device]セクションで確認でき、各デバイスはネイティブプロトコルにグループ化されています。 正しい構成が選択されていることを再確認してください。選択を誤るとカメラ制御に影響を与えます。
Channel Link	アイリス/マスターブラックコントロールに必要なプロトコルを選択します。可変レンズのないカメラの場合、これはデバイスと同じプロトコルに従います。可変レンズを備えたカメラの場合、取り付けられたレンズのプロトコルを選択します。 すべての構成クラスで使用できるわけではありません。
Tally Index	関連するタリーソースデバイスに接続するためのタリーインデックス番号を設定します。詳細については、Blue Pill/Reactor マニュアルを参照してください。 通常の操作では、この列に入力する必要はありません。
Route Index	関連付けられたルーティングデバイスに接続するためのルートインデックス番号を設定します。詳細については、Blue Pill/Reactor マニュアルを参照してください。 通常の操作ではこの列に入力する必要はありません。
FrameLink Window	FrameLink 互換デバイスで使用するために、FrameLink デバイスコアに関連付けられたFrameLink Window 値を設定します。詳細については、Blue Pill/Reactor マニュアルを参照してください。 通常の操作では、この列に入力する必要はありません。

Blue Pill Inside / Reactor Getting Started

ルーター入力セクターの例を以下に示します。これらは、選択した構成とデバイスによって異なる場合があります。ここから、パネルの入力/出力行の順序、ディスプレイ上の希望の名前とボタンの色が設定されます。



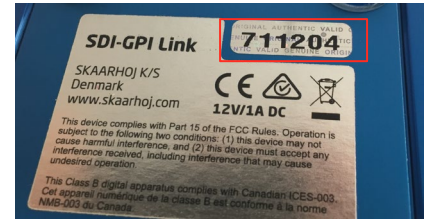
項目	説明
Drag	カメラの順序をすばやく並べ替えることができます。ドラッグを右クリックすると、行を削除できます。
Mute	特定の入出力へのアクセスを削除したり、パネルに空白の場所を残したりすることができます。
Output Number/ Input Number Ties	セクターを特定の入力/出力に接続します。これは個々のルータによって決定されます。
Alternative Label	ディスプレイに表示される名前をカスタマイズできます。文字数制限はディスプレイのサイズによって決まり、異なる場合があります。
Color	ボタンのフィードバックの色を設定します。カラーオプション: OFF, WHITE, WARM, RED, ROSE, PINK, PURPLE, AMBER, YELLOW, DARKBLUE, BLUE, ICE, CYAN, SPRING, GREEN, MINT. カラー選択の形式はすべて大文字で、単語の間にスペースはありません。

サポート窓口

サポートのお問い合わせは、以下購入販売元までメールをお送りください。

以下の項目を明記してください。

- どの SKAARHOJ ユニットに関するものか（型番）
- 機器のシリアル番号（購入販売店のシリアル番号）
- 問題の内容
- 制御しているハードウェアとファームウェアのバージョン
- ファームウェアアップデータアプリケーションを正常にインストールし、シリアルモニター（USB プログラミングケーブルが必要です）を使ってデバイスと接続した場合
- お使いのオペレーティングシステム



SKAARHOJ

株式会社 M&Inext SKAARHOJ 社 国内販売元

〒231-0028 神奈川県横浜市中区翁町 2-7-10 関内フレックスビル 210

TEL: 045-415-0203 FAX: 045-415-0255

MAIL: contact@minext.jp URL: <https://skaarhoj.jp/>

本書を権利者の許可なく配布、インターネットでの公開等を行うことは著作権法上禁止されております。

日本語訳・制作・著作 株式会社 M&Inext

2024年5月23日改訂